

平成22年国勢調査の企画に関する検討会（第9回）議事概要

- 1 日 時 平成20年11月26日（水）13時30分～15時45分
- 2 場 所 総務省統計局6階特別会議室
- 3 出席者
構 成 員：堀部政男座長、井出満委員、田中里沙委員、廣松毅委員
オブザーバ：小野島正彰（東京都総務局統計部人口統計課長）、小磯行生（横浜市行政運営調整局総務部総務課統計等担当課長）、千原重利（豊中市総務部次長兼情報公開課長）
総 務 省：川崎茂統計局長、吉崎賢介統計調査部長、飯島信也総務課長、杉山茂調査企画課長、千野雅人国勢統計課長、河野好行国勢統計課企画官、高見朗経済基本構造統計課長
- 4 議 事
 - (1) 平成22年国勢調査第2次試験調査結果について
 - (2) 平成22年国勢調査第2次試験調査結果を踏まえた今後の対応方針について
 - (3) その他
- 5 配布資料
 - 資料1-1 第2次試験調査 調査票及び世帯アンケート集計結果の概要
 - 資料1-2 第2次試験調査 各種記録表等の取りまとめ結果の概要
 - 資料2 第2次試験調査結果を踏まえた今後の対応方針案
- 6 議事の概要
 - (1) 平成22年国勢調査第2次試験調査結果について事務局から説明。主な意見等は次のとおり。
 - 当初回収時の回収率が、「新たな提出方法の強調周知型」（原則郵送提出）に比べて「多様な提出方法の並列周知型」のほうが高いことについて質問があり、後者の方法では調査員は当初回収期間中にすべての世帯を訪問する一方、前者の方法では調査員に提出したいと申し出があった世帯のみを訪問することとしており、これが影響しているのではないかとの説明があった。
 - (2) 平成22年国勢調査第2次試験調査結果を踏まえた今後の対応方針について事務局から説明。本日の意見等を踏まえ、第3次試験調査及び平成22年国勢調査の検討を進めることとされた。主な意見等は次のとおり。
 - 世帯への問い合わせに用いる「電話番号」の記入率が高くなるように調査票を設計してほしいとの意見があり、「電話番号」欄を「氏名」欄に近接して配置した場合、電話番号の記入率が高くなる一方で、他の調査項目の記入漏れを誘発している可能性があり、引き続き適切な「電話番号」欄の配置方法を検討したいとの説明があった。
 - フォローアップ回収における調査員の配置方法については、「フォローアップ回収事務調査員縮小型」のほうが回収率は高い一方、調査票の受取時と提出時の調査員は同じ人がよいと思う世帯の割合が高いため、調査員確保の観点も含め、調査実施者側の判断によっていずれかを選択すればよいのではないか。

- 記入不備の高い調査項目については、例えば「世帯員の数」を「世帯の人数」にするなど、一般的にわかりやすい表現にするとよいのではないか。
 - 調査票配布時に、各世帯に対して提出方法の確認を行わない理由について質問があり、不在世帯には確認できないこと、調査票配布時に提出方法を確認しても実際の提出方法は不確かであることなどの説明があった。
 - オンライン回収で使用する電子調査票として、PDF版に加えHTML版も作成することはよい取組である。また、オンライン調査の実施は、オンラインによる回答率が比較的高いオートロックマンションで効果的である。
 - 管理会社や管理組合の了解が得られれば、オートロックマンションの共用玄関を入った後に各戸を訪問し続けることも可能と思うので、関係者会議などの場を活用して調査への協力を依頼してほしい。
 - 都市部などで郵送提出の増加が想定されるため、指導員や市区町村職員の事務負担の軽減に配慮し、郵送提出の把握・管理や調査票未提出世帯の調査員への伝達を的確に行うことのできる調査方法を検討してほしい。
- (3) 平成22年国勢調査の結果提供及び広報について、意見交換が行われた。本日の意見等を踏まえ、それぞれ検討を進めることとされた。主な意見等は次のとおり。
- 若年層に対しては、テレビや新聞のようなマスメディアだけでなく、学校や職場から周知を行うなどの対応を行い、自分たちの未来のために国勢調査が必要であることなど調査の意義をわかりやすく伝えることが重要。
 - 国勢調査の結果の具体的な利用例を世帯に明確に伝えることが効果的である。
 - 調査員の仕事の現状を紹介し、新聞やテレビの報道で取り上げてもらうことや、人が集まるイベントの場を利用することなども考えるとよいのではないか。
 - 国勢調査について子どもの理解を深めるためには、子ども自身による調査員の仕事の体験や、統計学習を盛り込むこととした学習指導要領の改訂に合わせた周知が効果的ではないか。
 - 次回の国勢調査では、郵送回収やオンライン回収を取り入れ、安心して調査票に回答できるよう工夫しているという情報をマスコミに提供してはどうか。
- (4) 次回は平成21年1月30日（金）に開催予定。